

「現場社員のための組織行動力向上」

開催日時：令和7年6月27日（金）9:30～16:30（申込締切日：令和7年6月6日（金））
訓練会場：ポリテクセンター宮崎

1 | カリキュラム内容

推奨対象者：初任層

ねらい：企業の仕組みや、業界の背景について理解を深め、一般社員のうちから経営者の視点を理解し、上司の補佐や後輩の育成を行い、生産性向上のためのビジネス感覚を養うことにより、自ら主体的に社内の問題発見・業務改善を現場から発信するために必要な知識、技能を習得する。

基本項目	主な内容
1 企業組織と生産活動	(1) 企業を取り巻く問題と生産性向上 人手不足・物価高騰・働き方改革対応など、 企業をとりまく問題と、生産性向上による解決の流れを学ぶ。 (2) 従業員への期待と現実 従業員が期待されることに対し、自身の考えとはギャップが生じやすい。自身の行動を変えるきっかけについて考える。
2 状況変化に対応する現場力	(1) 主体性の発揮 業務改善やコストダウンなど主体的な活動が必要とされる中で自ら動くための主体性の向上についてヒントを得る。 (2) 業務の可視化・数値化 業務改善を行っても「盲点」があり問題をとらえきれていないことも多い。盲点をなくす可視化・数値化について学ぶ。 (3) 問題構造図による真の原因の抽出 【演習】論理的・多面的に考えるグループワークを行う。
3 フォロワーシップと組織行動力	(1) 自立的なフォロワーシップとは ただ言うことを聞くだけのやらされ仕事をするとモチベーションが下がる一方で成果も上げにくい。自ら能動的にやりがいをもち組織に貢献するフォロワーシップについて学ぶ。 (2) 組織行動力を向上するポイント 組織として業務改善を行う際に気を付けるポイント・考え方を失敗事例・成功事例などから学ぶ。

※受講者の当日のご様子を見て、主な内容を変更・追加する場合がございます。

2 | 講師紹介



田中 覚 / 株式会社タナカサトル技術支援

今までの簡易的な経歴：大手メーカーなど3社でモノづくり・コストダウン・生産性向上などに従事。技術士（機械部門）取得。主体性・協調性・見える化をキーワードに、働きがいを上げ生産性を上げるコンサルティング・研修を全国で行っている。

カリキュラム作成のポイント・ひとこと

「働き方」より「働きがい」に着目し、やらされ感をやりがいに換え「やらないといけない」を「やりたい」に変えることを目的にカリキュラムを作成しました。
組織のメンバーそれぞれが主体的に行動し、協力し合って仕事をするのが理想だと思われる方はぜひ受講をよろしくお願いいたします。第一歩目を踏み出しましょう！